

日本計画行政学会関西支部 平成24年度 総会・研究大会

市民・行政・大学の連携による持続的な地域継承のしくみを目指して

平成24年6月30日（土）10：00～17：00（懇親会 17：30～）

大阪市立大学 文化交流センター 大ホール（大阪駅前第2ビル6階）

集落・都市における生活文化や空間・社会の資源を受け継ぎ、現代から将来に向けて発展させていくプロセスを「地域継承」と定義する。その持続的な継承の原理は、生活者、NPO、専門家、行政など様々な人々の層の中で、住環境運営や生業、もしくは専門的な計画の議論を通して、地域の価値の捉え方、まちづくりや計画の考え方、創意工夫の仕方などの「地域づくりの精神」が技術とともに連綿と受け継がれていくことであると考え。今大会では、地域継承を、人や社会における精神や技術の継承の観点からとらえる。

元来その精神は、人々の生活や生業を成り立たせるための空間や社会組織が基盤となり、自治や地域行事などの体験を共有することにより世代から世代へと受け継がれてきた。しかし、人口減少や生活の多様化、生業の弱体化等により途切れようとしている。

一方、自治体においては、計画や政策の議論、技術の研鑽を通して人から人へと精神が継承されるしくみがあった。大学と自治体との役割分担がよい意味で「未分化」な時代があり、職員や研究者の自由な議論から重要な政策が構想される時代があった。これらのしくみが消失・解体され、一時、人材育成と政策研究のために期待された各自治体の「政策研究所」も財政難のために縮小を余儀なくされている。各層において崩壊しつつある地域継承のしくみを、人口減少や経済の縮退の時代においてどのように再構築すればよいであろうか。パネルディスカッションでは、継承すべき精神（地域づくりにかかわる知識体系や考え方）や技術とは何か、精神や技術を人から人へと継承する「場」をどのように生み出すのか、既に途切れつつある文脈をどのように再構築するのかについて主題解説いただき、ディスカッションや応募論文のレビューを通して、持続的な地域継承のモデルを得ることを目標とする。

■プログラム（午前の部）

10：00 開会の挨拶

10：05 研究報告【報告：20分・討論：10分】 座長：高田 剛司（(株)地域計画建築研究所 チーム長）

1) 「公共性に関する一考察」

報告者： 衣笠達夫（追手門学院大学 教授）

討論者： 野口 隆（奈良産業大学 教授）

2) 「地域継承の担い手としての定住コーディネーターのあり方」

報告者： 丸山紗千代（滋賀県立大学環境科学研究科環境計画学専攻）

野間比呂心（株式会社廣濟堂）

鵜飼 修（滋賀県立大学全学共通教育推進機構 准教授）

討論者 濱田学昭（NPO街づくり支援センター）

3) 「(仮) 市民・行政・大学の連携による持続的な地域継承のしくみ」

報告者： 木多 道宏（大阪大学大学院 工学研究科 准教授）

討論者： 鵜飼 修（滋賀県立大学 全学共通教育推進機構 准教授）

4) 「自治体産業政策と企業との関係—技術開発支援の事例から—」

報告者： 梅村 仁（高知短期大学 社会科学科 教授）

討論者： 井上 智之（(財)尼崎地域・産業活性化機構 事業課調査担当係長）

主 催：日本計画行政学会関西支部

共催：日本建築学会近畿支部

■プログラム（午後の部）

（13：00 支部総会）

— シンポジウム — 司会：井上 智之（(財)尼崎地域・産業活性化機構 事業課調査担当係長）

13：40 主題解説【報告：各25分】

1) 地域における継承の「場」の形成

「(仮) 亀岡市における市民・大学・行政の新しい連携のかたち」

報告者：田中秀門（亀岡市 夢ビジョン推進課長）

2) 継承すべき精神と技術とは何か

「滋賀県立大学におけるコミュニティ・アーキテクト（近江環人）の育成」

報告者：鶴飼 修（滋賀県立大学 全学共通教育推進機構 准教授）

3) 途切れた文脈の再構築

「岩手大学による東日本大震災からの水産業の復旧・復興」

報告者：田村直司（岩手大学 三陸復興推進本部釜石サテライト）

4) 自治体における、市民・行政・大学の連携による「地域づくりの場」について

「地域継承をめざした大阪府の「現場」における地域力再生の取り組みについて」

報告者：小河保之（大阪府副知事）

（休憩）

15：40 パネルディスカッション

「市民・行政・大学の連携による持続的な地域継承のしくみを目指して」

パネリスト 田中秀門、鶴飼 修、田村直司、小河保之

コーディネーター 木多道宏（大阪大学大学院 工学研究科 准教授）

16：50 閉会の挨拶

17：30 懇親会（場所：未定）

■会場案内



<http://www.osaka-cu.ac.jp/faculties/bunko>

■参加費

1,000 円（当日、会場でお支払い下さい）

※懇親会：4,000 円程度

— 当日、懇親会会場でお支払い下さい

■申込み

以下の申込書に必要事項を記入の上、6月28日（木）までに、FAXかメールでお申込み下さい。

※上記〆切は懇親会参加者数の把握のために設けていますので、申込なしの参加も可能です

■問合せ

日本計画行政学会関西支部事務局

（株式会社地域計画建築研究所内 担当：森脇・高田）

電話：06-6942-5732

メール：japa-kansai@kagoya.net

申込用紙（⇒FAX：06-6941-7478）

「日本計画行政学会関西支部 平成24年研究大会」への参加を申し込みます

会員以外のご参加も歓迎

ご氏名		懇親会
ご所属		参加 ・ 不参加
ご連絡先		

※メール（japa-kansai@kagoya.net）でお申込みいただいても結構です